



〈厳しい寒さがおいしさの秘密〉
露地のネギや白菜は、冬の味！
ハウスの中のロケットやわさび菜
の収穫が始まっています。

2022.02

はたけは
ひろいな
おおきいな

標高500mの山のてっぺん、世羅高原の畑から、
畑の風と、採れたての野菜のある毎日をお届けします。
農薬、化学肥料を使わずに育てました。



〈犯人はシカとイノシシ!!〉

“みなみの畑”は、壊滅状態です。
柵を壊され、大根やカブの葉っぱだけ
でなく、実の部分も食べられてしま
いました。草もありません。
ネットをかけてある白菜も、ネット
をはがして食べられつつあります。



〈柵がさらに進化〉

“ハウス横の畑”のワイヤーメッシュ
の柵の上に、鹿よけ網20m×3本
を追加しました。
2011年に初めて“ハウス横の畑”
を囲った柵が、エクセル線を追加し
た時代を経てさらに進化しました。



〈外はカリッ、中はクリーミー〉

蒸したサトイモにオリーブオイルを
まぶしてグリルで焼きました。
Tさんのおすすめです！

..シカがふえている..シカがふえている..

お正月明けに柵を壊され、シカやイノシシが毎日のように入っている
“みなみの畑”は、まるで芝刈りをした後のように草が食べつくされて
います。

“みなみの畑”は、南向きで日当たりがよく、いつもは春一番のキャ
ベツやレタスなどを作っています。周囲が400mくらいあり、2013年
から2014年にかけて、ワイヤーメッシュで柵を作って囲みました。し
ばらくは被害がなくなったのですが、2016年、2017年とイノシシに
ワイヤーメッシュの柵を壊されました。2018年からはジャガイモやサ
ツマイモ、カボチャの作付けをやめ、イノシシは畑に入らなくなってい
たのですが、2020年、ピーツや人参、パースニップが食べられました。

1月14日の中国新聞には、世羅町の花観光農園でイノシシやシカの獣
害が多発。農地にとどまらず、花にも被害が出ていて、特にシカの被害
が増えたとの記事。近所で猟をしているOさんも、シカばかりだと言
っていました。シカに畑の草をきれいに食べつくされたのは、初めてで
す。

〈2月の野菜〉

露地の畑
白菜、ネギ、辛味大根、キクイモ
などが収穫中。

ハウスの中
コマツナ、ホウレン草、ロケット、
赤リアスからし菜、わさび菜、ミ
ニ大根などが収穫中。
水菜、赤茎ホウレン草、リアス
からし菜、小カブ、ラディッシュ、
赤大根、黒丸大根などの収穫が始
まる予定です。

※ハウスの中の野菜には、アブラ
ムシやヤサイゾウムシの幼虫が
ついていることがあります。
50℃洗いがおすすです

サトイモは、保存穴の中に保存し
ているものを出荷中。